

# 第28期 決算公告

平成23年2月25日  
 大阪市大正区泉尾七丁目15番3号  
 株式会社ウエックス  
 代表取締役社長 藤原 清志

## 貸借対照表

(平成22年12月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>( 資 産 の 部 )</b>		<b>( 負 債 の 部 )</b>	
<b>流 動 資 産</b>	<b>1,186,684</b>	<b>流 動 負 債</b>	<b>627,726</b>
現金及び預金	375,011	買掛金	161,603
売掛金	65,557	未払金	82,616
棚卸商品	93,682	預り金	8,850
未収入金	7,673	未払費用	20,707
前払費用	15,753	未払法人税等	308,340
預け金	600,706	リース債務	41,875
立替金	265	未払消費税等	3,731
未収利息	190	<b>固 定 負 債</b>	<b>55,845</b>
繰延税金資産	28,263	長期未払金	49,864
貸倒引当金	△ 419	リース債務	5,981
<b>固 定 資 産</b>	<b>650,819</b>	<b>負 債 合 計</b>	<b>683,572</b>
<b>有 形 固 定 資 産</b>	<b>540,911</b>	<b>( 純 資 産 の 部 )</b>	
建物	52,329	<b>株 主 資 本</b>	<b>1,153,015</b>
建物附属設備	16,785	<b>資 本 金</b>	<b>10,000</b>
車両及び運搬具	8,385	<b>資 本 剰 余 金</b>	<b>126,073</b>
什器備品	6,785	その他資本剰余金	126,073
土地	215,166	<b>利 益 剰 余 金</b>	<b>1,084,941</b>
自動販売機	193,603	利益準備金	10,000
リース資産	47,856	その他利益剰余金	1,074,941
<b>無 形 固 定 資 産</b>	<b>20,195</b>	別途積立金	361,000
ソフトウェア	14,132	繰越利益剰余金	713,941
営業権	6,063		
<b>投資その他の資産</b>	<b>89,712</b>	<b>自 己 株 式</b>	<b>△ 68,000</b>
出資金	100	<b>評 価 ・ 換 算 差 額 等</b>	<b>915</b>
投資有価証券	3,476	その他有価証券評価差額金	915
差入保証金	42,848		
長期前払費用	4,917	<b>純 資 産 合 計</b>	<b>1,153,931</b>
匿名組合出資金	37,340	<b>負 債 純 資 産 合 計</b>	<b>1,837,503</b>
破産・更生債権	7,861		
繰延税金資産	1,030		
貸倒引当金	△ 7,861		
<b>資 産 合 計</b>	<b>1,837,503</b>		

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てております。

# 注 記 事 項

## 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

### (1) 資産の評価基準及び評価方法

#### ① 有価証券

##### a. その他有価証券

##### (a) 時価のあるもの

事業年度末の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定しております。）

##### (b) 時価のないもの

移動平均法による原価法

#### ② たな卸資産

##### a. 商品

総平均法による原価法を採用しております。

### (2) 固定資産の減価償却の方法

#### ① 有形固定資産（リース資産を除く）

##### a. 建物

定額法によっております。なお、主な耐用年数は33年であります。

##### b. 自動販売機

定額法によっております。なお、主な耐用年数は5年であります。

##### c. その他

定率法によっております。なお、主な耐用年数は次のとおりであります。

建物附属設備	3～28年
車両運搬具	4～6年
什器備品	3～15年

#### ② 無形固定資産（リース資産を除く）

定額法によっております。なお、耐用年数は次のとおりであります。

ソフトウェア	5年
営業権	5年

#### ③ リース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

#### ④ 長期前払費用

期間対応償却によっております。

### (3) 引当金の計上基準

#### ① 貸倒引当金

売上債権、貸付金等の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込み額を計上しております。

### (4) 消費税等の会計処理

税抜方式によっております。

## (5) 会計方針の変更

(たな卸資産の評価基準及び評価方法)

従来、たな卸資産については最終仕入原価法によっておりましたが、親会社であるコカ・コーラウエスト㈱と会計処理方法を統一するために、当事業年度から総平均法による原価法を採用しております。これによる損益に与える影響は軽微であります。

(自動販売機の減価償却方法)

従来、自動販売機については定率法によっておりましたが、親会社であるコカ・コーラウエスト㈱と会計処理方法を統一するために、当事業年度から定額法に変更しております。この変更により、従来の方法と比較して、営業利益は 38,734 千円、経常利益および税引前当期純利益はそれぞれ同額増加しております。

(リース資産の会計処理)

従来、リース取引会計基準の改正適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、親会社であるコカ・コーラウエスト㈱と会計処理方法を統一するために、当事業年度から通常の売買取引に係る会計処理によっております。これによる損益に与える影響はありません。また、リース資産が 27,822 千円、リース債務（流動・固定）が同額増加しております。

(消費税等の会計処理)

従来、消費税等については税込方式によっておりましたが、親会社であるコカ・コーラウエスト㈱と会計処理方法を統一するために、当事業年度から税抜方式に変更しております。

## 2. 貸借対照表に関する注記

### (1) 減価償却累計額

有形固定資産の減価償却累計額 443,747千円

## 3. 税効果会計に関する注記

### (1) 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別内訳

繰延税金資産	
未払事業税	28,263千円
貸倒引当金（更生債権）繰入額	1,651千円
その他	218千円
評価性引当額	△ 176千円
繰延税金資産合計	<u>29,957千円</u>
繰延税金負債	
その他有価証券評価差額金	△ 663千円
繰延税金負債合計	<u>△ 663千円</u>
繰延税金資産純額	<u>29,293千円</u>

## 4. 当期純損益金額

当期純利益 457,899千円

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てております。

以 上